

# のぼるべつ

●No. 303 ●昭和55年6月1日発行 ●発行/北海道登別市 ●編集/総務部公聴広報課 ●印刷/中西印刷

## 主な内容

- 水の安定供給へ 上水道第1期拡張事業 ..... 2P
- 26年目を迎えた失業対策事業 ..... 3P
- 辰田光次郎氏 藍綬褒章を受賞 ..... 3P
- 北海道縦貫自動車道 期待される早期完成 ..... 4・5P
- スポーツ活動のために学校を解放します ..... 5P



作業は、調査員の指導で根気よく進められています。



出土された石器（石ナイフとも呼ばれ、万能の利器でした）。

市内初の本格的な遺跡発掘調査が、北海道埋蔵文化財センターによって進められています。この調査は、北海道縦貫自動車道の建設とともに、工事区内にある遺跡の現状保存が難しくなってきたため、遺物の記録保存を目的に、五月十二日から十月下旬まで実施されます。

対象となる市内の遺跡は、「川上B遺跡」「富岸遺跡」「千歳4遺跡」の三カ所で、調査面積は九千八百五十平方㍍です。調査事務所は、青葉小学校から約三百㍍総合体育館寄りの「川上B遺跡」の一角にプレハブ二棟を建設、中村福彦調査第一班長リード下に、アルバイトの主婦たち

を中心とした四十一人が作業に当たっています。始まられ、すでに、今から四千年から五千年前の石器（写真左下）が出土されたほか、縄文式土器の破片が数多く出土されています。調査を進めていた、道埋蔵文化

センター調査事務所（青葉町一八番地 電話8局022-9）では、発掘調査に支障のない範囲で、学校授業の見学会や体験

学習会に応じて開催しています。また一般の方が見学を希望される場合は日程を決めて見学会を開催していきたいと希望の方は、あらかじめ同務所へお問い合わせください。



「川上B遺跡」発掘調査現場

●世帯と人口 世帯 17,570 人口 56,697 (前月比+9) 男 28,223 女 28,474 (4月末現在)

## 発掘調査進む「川上B遺跡」

6 1980  
1

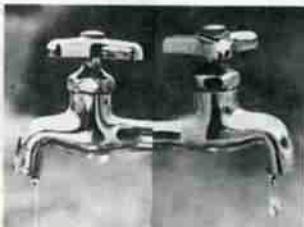
# 水の安定供給へ

水道週間  
6月1日～7日



愧別冷冰雲水原地

こんなムダが…



糸状の水 ポタポタ水  
1時間で 1時間で  
約8リットル 約1リットル

六十四年度までの水を確保  
業では、保留されている一万四千五百八十八ヶ所の給水体制を整えるとともに、これまでの三つの上水道を統合して登別上水道に名称を変更し、給水区域の拡大と給水区域一円の水需要に対応するため実施されます。

れる第一期拡張事業は、昭和六四年度を目標年度とし、予想される人口の増加に対応していきます。

今年度と来年度の二ヵ年事業で千歳地区に配水池を新設するのをはじめ、分水施設一ヵ所を設け、送・配水管および排水管を約十二キロにわたり敷設します。

この事業が完成しますと、長年

城における水庄の低下や断水の不安から解消されることになります。

しかし、市内の配水管は非常に古く、水圧が高くなると破裂する恐れもあり、また、配水池から送水された水を百分とすると、各家庭などに届くまでに約二十五%は漏水などにより地下に浸透し、利用されていないといった問題点も抱えています。

## 上水道第1期擴張事業

人口の増加とともに水需要の増大は、一部地域において水圧の低下や断水状態が発生しており、今後も人口の増加や水洗トイレの普及によって、さらに水需要の増大が予想されています。

水道部では、こうした状況に対応するため、昭和六十四年度を目標年度とする「登別上水道第一期拡張事業」を、今年度と来年度の二ヵ年で実施します。

今号では、登別市の上水道の現況と総事業費五億二千万円で行なわれる第一期拡張事業の概要をお知らせします。

その給水能力は、一日当り一五  
三千八百四十五メートル（ドラムかんにして約六万九千本）で、五月一日現在の給水人口は五万千六百八十九人、普及率では九十三%と、今道の平均普及率を上回っています。  
ところで、登別市の取水可能量はどうなっているのでしょうか。  
市内には、数多くの河川がありますが、そのほとんどは室蘭市内の企業をはじめ、室蘭市などの水利権によって占められ、現在、市が保有している水利権は来馬川水源四千本、クスリサンベツ川水源の四千三百四十七本だけです。

貴重な水です。  
大切に  
もし、水道の水が止まつたら、  
わたしたちの生活は即座にマヒし  
てしまいます。

除く)  
この交換用バッキンは、市役所  
水道部、各支所に用意いたします  
のでご利用ください。  
じや口の水もれは、バッキンを  
取りかえるだけ、奥さまで簡単  
になおせます。  
バッキンを取りかえる順序  
一、まず水抜きせん(水おとし)  
をよくしめてください。  
二、スパナーで上部を左にまわし  
てゆるめ、ハンドルを全開しま  
す。  
三、じや口からハンドルを抜きよ  
り、ハンドルの先についている  
止めビスをドライバーではずし、

●じゃらの構造と名称

新しいパッキンを取り替えます。

四、いよいよ組み立てです。ます  
ハンドルをもとのように差し込みます。

五、ハンドルをよくしめてから、  
スパナーで上部をしつかりとし  
めつけます。これで作業は終り  
ました。水抜きせんをあけてく  
ださい。



## 国勢調査のはなし

## 今回の調査の特色は

調査日 10月1日(水)

国勢調査は国の最も基本的な統計調査で、国内に住むすべての人に對する

さらに、六十五年度以降の水資源の確保を目指して、現在、新たな水資源の開発調査を実施していますが、その可能性は非常に厳しく、次代に不安を残さないためにも、将来的見地に立った水道行政の推進が必要となっています。

# 一十六年目を迎えた失業対策事業

登別市の失業対策事業は、昭和三十年四月から実施され、今年で二十六年目を迎えました。

この間に人口は二倍を超えて、生活動都市・登別の町づくりが進められました中で、失業対策の果した役割は、決して少なくありません。

学校グランドの新設と整備をはじめ、道路では、幌別中学校横の新道づくり、道路の清掃、除雪、墓地・公園の除草や清掃など、数多くの工事整備を行なってきました。

このように、決してきれいな仕事とはいえないにもかかわらず、道への砂利敷きと地ならし。

## 辰田光次郎氏

### 藍綬褒章を受賞

て行なわれ、当日は夫  
人同伴で出席されました。

辰田氏は、昭和十年  
十月に行なわれた第四  
回国勢調査から五十年  
海道社会貢献賞を受賞されてい

ます。

### 中小企業診断士試験が 実施されます

また、民生委員、保護司、体育指導員など市の福祉、体育の振興にも努められています。

市では、失業対策で働く人たち

との間に、積極的な話し合いを行

なった上で合意書をとりかわし、

作業能率が下がることは確実であ

り、しかも賃金、資材の高騰など

による市の超過負担など、大きな

問題を抱えているといえましょう。

市では、失業対策で働く人たち

との間に、積極的な話し合いを行

なった上で合意書をとりかわし、

より効率的な労働内容となるよう

配慮しています。

「このように不況なのだから、

これらの仕事をむしろ民間に向け

てやれば、雇用も少しは拡大され

るし、仕事の内容も今より能率的

にできるのではないか。」という

声はたしかにあります。

しかし、この事業を廃止するこ

とは、ここで働く人たちの生活を

不安に落とし入れることになり、

廃止にふみきるには、何らかの対

策があつてから上の上でなくてはな

りません。

市単独で解決するには、余りに

大きな課題といえましょう。

（電話⑤4-111）にお問い合わせ

ください。

（○受験資格：一次試験については、年齢、性別、学歴等の制限はありません。ただし、次の該当者は、中小企業診断士の認定を受けることができません。ただし、次の該当者は、

（○受験料：六千円）

（○受付期間：六月一日から六月十

六日まで。

（○試験場：札幌（ほくさんビル））

（○試験日：七月二十二日～二十三日）

（○受験料：六千円）

式は五月十九日、総理府におい

を果たしていただきました。

（○未満年者、禁治産者又は準禁治

者）

（○受験料：六千円）

（○受験料：六千円）</p

## 北海道縦貫自動車道

# 期待される早期完成

市内の本格工事は  
五十七年度以降に



すでに発表された、苫小牧東—室蘭東インターチェンジ間に路線は、現在利用されている札幌南—苫小牧東インターチェンジ間に統くもので、登別市内を走る自動車道は十四・三キロあり、この間には登別、室蘭東の二つのインターチェンジが設けられます。

工事は、インター間で集中的に実施し苫小牧側からの順次供用開始を予定しています。

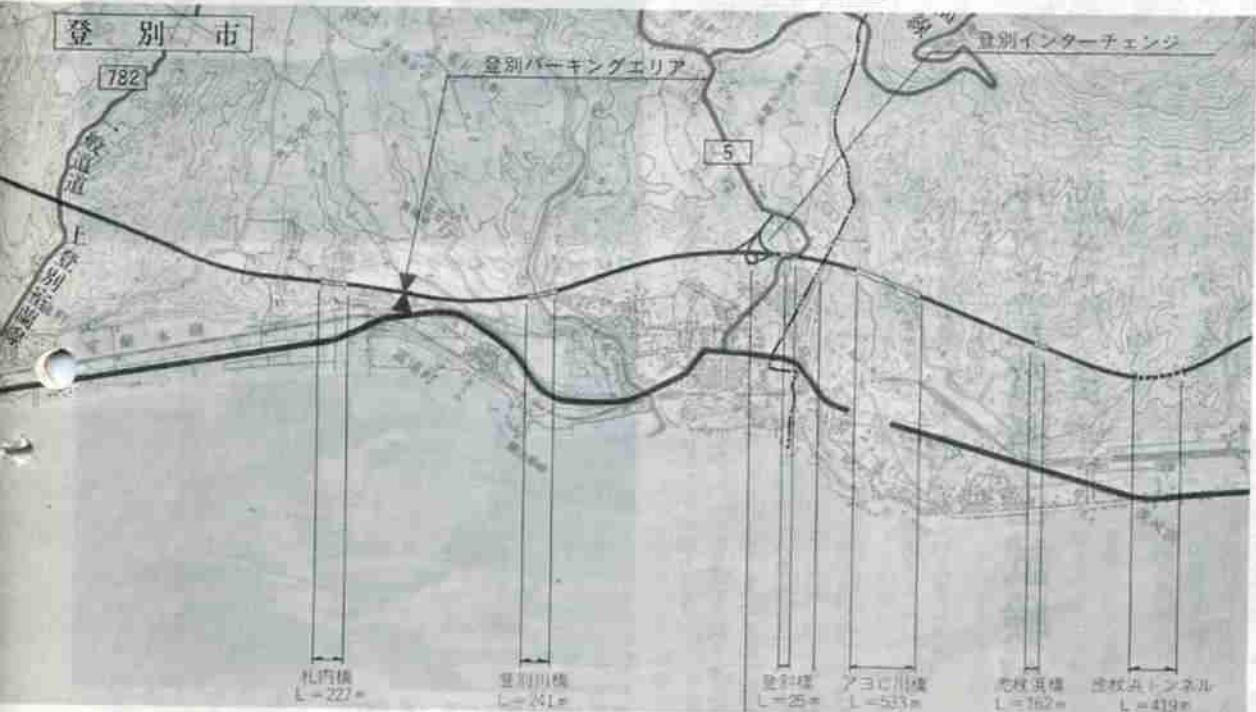
日本道路公団では、昭和五十年代に道縦貫自動車道の苫小牧市から登別市富岸町までのルートを発表、苫小牧側から着々と工事が進められていますが、市内においても昨年八月から中札内地区で一部工事が行なわれています。

同自動車道の完成により、市の発展に与える影響は大きく、その早期完成が期待されますが、今号では市内の路線図とその概要に焦点を当ててみました。

苫小牧西—室蘭東インターチェンジ間の総事業費は一千二百三十七億円という大事業ですが、工事の進展は今後の経済情勢に大きく左右されますが、苫小牧東—白老インター間の開通は五十八年以降、室蘭東インターまでの供用開始は六十年以降になると予想されています。

工事が完了し、札幌と一本で結ばれると、札幌南—室蘭東インターチェンジ間は百三・七キロで、時間では、一時間十分くらいで連絡できるようになり、農畜産物、水産資源の流通、企業の進出、交通事故の減少、交通混雑の緩和、観光の開発など、産業、経済や社会の発展の基盤として大きな効果が見込まれ、道縦貫自動車道の早期完成が期待されます。

北海道縦貫自動車道(登別市内)路線図



### 消防設備士試験の一案内

毎月十日の「防火の日」に、サイレンを吹鳴し、防火の注意を喚起してきましたが、最近火災が多発の傾向にあります。

登別地区では、六月一日より毎日正午にサイレンを吹鳴し、防火意識の向上を一層高めることとなりました。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

登別地区では、六月一日より毎日正午にサイレンを吹鳴し、防火意識の向上を一層高めることとなりました。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- ◎受験資格
  - I 学歴：[A]学校教育法による大学（短大を除く）卒業した者。
  - [B]左記以外の者
- ◎受験願書の請求
  - 消防本部に請求してください。
- ◎試験日：八月六日、七日
- ◎願書の受付期間
  - 六月一日から六月二十日まで
- ◎受験願書の請求
  - 消防本部に請求してください。
- ◎不明な点は消防本部（電話⑤2111内線366）にお問い合わせください。

### 北海道警察官募集

- ◎採用予定人員：約百二十名
- ◎受付締切：六月十四日（土）
- ※くわしくは、室蘭警察署またはもよりの警察官駐在所、派出所にお問い合わせください。

バレーボール協会では、バレーボール愛好者の親睦をはかるため次とのおり市民大会兼道民スポーツ大会予選会を開催します。

○日時 六月十五日(日) 午前九時三十分

○場所 登別市総合体育馆

○種目 六人制バレーボール

一般男女

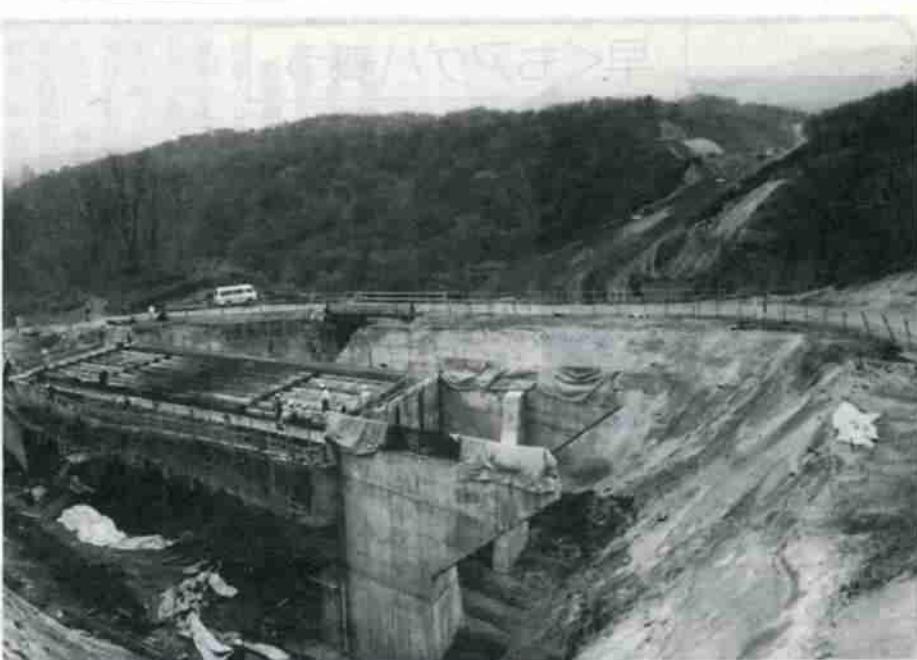
○ 参加資格 登別市バレーボール協会に加盟しているチーム（未登録チームは、登録料千五百円が必要です。）

○ 参加料 チーム六百円

○ 申し込み期日 六月十三日まで

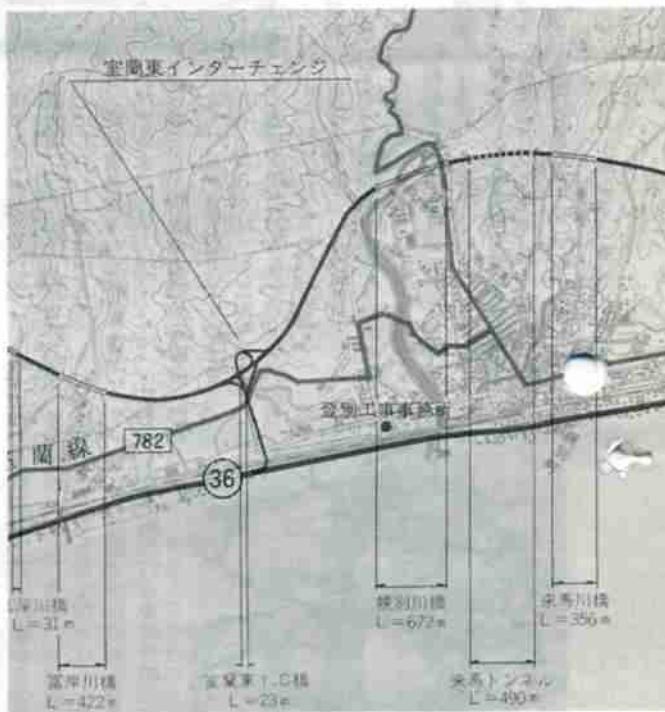
○ 申し込み先 梶別町五丁目十二番地 立中善則（電話5局901）

バレーボール大会が開かれます。



## 札内工事現場

農道2本、河川1本と交差する複雑な立体交差工事が急ピッチで進められています。ルート最大の難所でこの工事だけで10億6千万円という大がかりなもので



休日・夜間の  
急病は

休日や夜間、急に発病した市民のために、急患診察医（当番制）と、室蘭登別急病センターが開設されています。

急病センターの診察受付時間の開始までの間、室蘭、登別地区の医院が当番制で急病患者の診察を行っています。

■診察時間：平日—午後六時—午後九時。土曜日—午後一時—午後五時。日曜・祭日—午前九時—午後五時。

■急患診察医の診察後は、室蘭登別急病センターが開設されています。利用されるときは、必ず保険証を持参してください。

■診察時間：平日－午後十時／翌日午前六時。土曜・日曜・祭日－午後六時／翌日午前六時。

■場所：室蘭市東町五丁目六番十三号（北口保育所）

植木の盗難に  
ご注意を：

花や木が芽を吹くこのごろ  
植木の盗難がでております。  
鉢植のものは、忘れずに夜に  
は、家の中に入れましょう。  
また、庭には垣根を作るな  
どして、外から侵入しやすく  
しまじょ。



## 早くもアゲハ舞う



七月も下旬にならないと見られない・キアゲハチョウ・か、ヒラヒラと家の中を舞い、近所の話題となりました。

井上義昭さん宅(片倉町三丁目四)では、昨年の秋に水葉についていた毛虫を、虫かごに入れて置いたところ、やがてさなぎとなつて家中で冬越し、四月二十七日にふ化したものです。

## 老人生きがい焼



お年寄りの生きがい対策として昨年から実施された「老人陶芸教室」が、今年も養護老人ホーム恵寿園内の陶芸室で行なわれています。今年は、市民まつりなどに作品を出展する予定で、湯のみ茶わんの制作に熱心に取り組んでいます。

今年は、市民まつりなどに作品を出展する予定で、湯のみ茶わんの制作に熱心に取り組んでいます。

## 新入生迎え避難訓練

### 富士幼稚園



春の火災予防運動期間中(四月二十日)五月九日(の)五月七日富士幼稚園で避難訓練が行なわれました。

これは、新入園児を迎える、万一の火災に備えようと毎年行なわれているもので、避難を終えた園児は、かけつけた消防車の放水を不安なまざりで見守っていました。

これは、新入園児を迎える、万一の火災に備えようと毎年行なわれているもので、避難を終えた園児は、かけつけた消防車の放水を不安なまざりで見守っていました。

## 郷土史探訪

47

### 登別の「森林」を訪ねて

本、鍵田、脇  
古くから開拓に従事し

た三原、杉  
樹の下には、古くから開拓地で生産した記録があつて、興味のあることです。

このほかに伐り出された木材と

北海道ソーダー工場の山側を約

五ヶ所札内台地へのぼっていくと

道路の右側、高圧線の近くに、開

拓記念樹があります。

樹齢約二百五十年、高さ二十五

メートル、直徑百十一センチで、明治十九

年札内開拓の入植時からあったミ

ズナラの樹です。

この樹は、名前の通り大量の水

分を含んでいるため、倒木して薪

にして乾燥しやすいので、なか

な燃えません。そして、堅く重

いので、開拓した昔の人達には、

始め邪魔で嫌われものでした。伐

り倒して二・三年は放りなげて燃

やしてしまうのが普通でした。

知里真志保博士によると、ミズ

ナラはアイヌ語で「ベロ」とい

うことは「ベ・ノ」水を含んでいる

意味ではないかと話しています。

しかし、「ヨーロッパでは堅く重い」といって咲き、十月になると「ドングリ」と知られる実になります。

日本でも、明治の末頃から輸出品として注目されはじめています。

雄花と雌花が同じ木に別々について咲き、十月になると「ドングリ」と知られる実になります。

黄採掘が主たる仕事で、木材業にはあまり力を入れなかつたようですが、また、記録で珍しいのは、ブナの北限が黒松内と寿都を結ぶ線



札内の「開拓記念樹・ミズナラの樹」樹齢約250年



(宮武記)

登別市郷土文化研究会

（宮武記）

であるとされていながら、当時登別地方で生産した記録があつて、興味のあることです。

このほかに伐り出された木材と

して考えられるのは、家庭用には

大平氏などによる開拓記念碑が置かれ、また五角の神を祭る石碑も

あります。

イチイなど、舟材には水によく浮

いて軽いカツラ、ヤチダモ、ゼン

スギなど、薪炭用（焚木）には良く燃えるハ

ルニレ、シラカバ、などです。

また、カムイヌブリ、米馬岳に

は、トド松、エゾ松など「蝦夷桧

塘桧」といわれた良材の大木が多

く繁っていましたことがわかります

これらの良材は、いつどのように

して運び出されたのでしょうか。

登別市郷土文化研究会

（宮武記）



